



新企画 "レジットーク" やってみました

初期研修医 2年目 行元 志門



私は現在、「高知県の医療を良くする」ための研修医団体「コーチレジ」の活動に携わっており、その活動の一環として"レジットーク"という企画を行いました。内容は、県内の各病院を代表する10人の研修医（通称ひな壇レジデント）に、医学生が知りたい

国家試験のことや研修医あるあるなどを、某有名トーク番組風に話してもらいながら高知県での研修をPRしていくというものです。

近年、高知大学出身にも関わらず他県に出てしまう研修医が非常に多いのが現状ですが、今回のように医学生が

気軽に参加でき、なおかつ高知県の良さを改めて感じてもらえる企画を引き続き行っていくことで、必ずや高知県の臨床研修が盛り上がり信じています。

ゆきもと しもん



お弁当拝見 64 充実した休日と 仕事のために

近森リハビリテーション病院
5階西病棟
看護師 香西 江梨奈

4月に就職した新人です。この仕事を始めて、時間管理がとても大変だということを実感しています。仕事と家事を両立させるために、休日はおかずの作り置きをして、それをお弁当にも活用して時間の節約をしています。

できあがった際は充実感を得ることができ、気持ちに余裕が生まれて人にも優しく接することができるような気がしています。患者さんにも毎日優しく接することができるよう、しっかり時間管理をしていきたいです。

こうざい えりな



ハッスル研修医

人とのつながりを大事に

初期研修医 奥根 亨也



和歌山の南端で育ち、高知県にやってきて今年で7年目になります。大学時代は硬式テニスに打ち込み引き締まった体を保っていましたが、最近自分の体が丸みを帯びてきました。やはり高知の食べ物は美味しいですね。

近森病院での研修が始まり早3カ月が経ちました。毎日、失敗と反省の繰り返しで苦労する日々が続いておりますが、コメディカルの方々や熱心に指導して下さる先生方に支えられて、充実した研修を送っています。私は高知に来るまで信号もない田舎町で暮らしてきました。そこでの暮らしは決して便利ではありませんでしたが人のつながりはとても濃かったと思います。

私が高知県で働こうと思ったのも、大学6年間で出会った人とのつながりを大事にしたいと思ったからです。医師として、社会人としてたくさんの人と関わっていきと思いますが、ひとつひとつの出会いを大切にしたいと思っております。今後ともよろしくお祈りします。

おくね ゆきや